自己評価結果公表シート (令和4年度)

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて 健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- 人を思いやる気持ちを育てる。
- 集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 保育者の資の向上
- 子ども理解と保育環境の見直し
- 行事の見直しと家庭・地域との連携

三角では、 一角では、 一角では、

4. 評価項目の達成及び、	取り組み状況
評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の質の向上	 外部の研修案内を回覧したり、常に見られる場所に置いたりする事で、見通しを持って参加する事ができた。又、ミーティングや園内のSNSでも、研修案内を随時紹介し、希望者を募る事で積極的に参加する姿勢が見られた。 様々な分野に目を向け、研修に参加できるよう、分野毎の研修履歴表を作成し個人毎に配布した。又、年度毎に研修時間を記入する為、自分の受講状況が分かり、受講する意欲にも繋がった。 研修に参加後は、研修報告書を全職員に回覧する事で内容を共有する事ができた。しかし、回覧だけでは伝わりきらない所もある為、ミーティングや職員会議でも紹介する機会を作っていきたい。
〇子ども理解と保育環境 の見直し	・毎日のミーティングの中で、乳児・幼児クラスを交えて子どもの遊びや成長の様子、子ども同士のやりとり等を紹介する事で全職員が一人ひとりについて深く知る機会が増え、共通意識を持って子どもと関わる事ができた。しかし、乳児・幼児と時間を分け活動する事が多く、他クラスの子どもとと関わる機会が少なくなっていた為、積極的に他クラスの子どもとも関わり、職員皆で園全体の子ども達を見つめていけるよう意識を高めていきたい。 ・子ども達の遊ぶ様子に合わせて室内のコーナーあそびの環境を見直し、変化させる事で飽きることなく遊ぶ事ができていた。 ・戸外の自由あそびに関しては、他クラスとの連携が十分ではなく、新しく環境を整えるまでに時間が掛かる事や、共通意識を持てていない事があった。季節やその時々の子どもの興味に応じて、更に創意工夫し、すぐに環境を整えていけるよう、プロジェクトを立ち上げていきたい。
○行事の見直しと地域と の連携	・保護者参加の行事について、開催を前提に職員同士で実施の方法を出し合い、、換気や感染対策、人数制限を行いながら殆どの行事を例年に近い形で行う事ができた。・コロナ禍になり、地域の方々に対しての行事の中止が多かったが、屋外で人数制限を行いながら園庭開放を行った。定期的に開催する事で、地域の未就園児の方に喜んで利用して頂けた。・又、法人内4施設合同で職員が参加し、地域の公園での出前保育を行った。園を知らない方との新しい交流のきっかけにもなったので今後も続けていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者の質の向上	・外部研修の参加等の意識が高まり、積極的に参加する事ができているが、学びの共 有が十分にできていない部分がある。回覧だけでなく、研修報告をミーティングで紹
・子ども理解	介する等し、より興味が持てるよう工夫していきたい。 ・日々の保育に対し、振り返りを行い、職員間で話し合う機会を増やしていけるよう、教育保育環境ガイドラインの活用の機会を増やしていく。
・保育環境の見直し	・異年齢でのかかわりの機会や、合同時の職員の交流等を通じて、他クラスの子ども 達への理解を深められるようにする。 ・季節やその時の子どもの興味に応じた環境を随時整えていけるよう、園庭プロジェ クトを立ち上げ、定期的に幼児・乳児それぞれが意見を出し合い話し合う機会を設け
・行事の見直しと家庭・地域 との連携	る。 ・保護者の保育参加や行事等、コロナ禍前の計画に見直し、子ども達の普段の園での様子や成長を保護者の方と共有できるようにする。又、乳児はしっかりと計画を立て、定期的に動画や写真等で様子を伝えるようする。 ・前年度は、園庭開放のみだったが、室内での活動も取り入れる事で、幅広い年齢の子ども達が参加できるようにする。